

## 問 浸水・冠水の緊急対策が必要

### 答 短期・長期の冠水低減対策を実施



新政とうかい  
おおうちのりお 議員  
大内 則夫

**問** 豪雨災害に対して短期・長期計画を策定し、出来るところから対策を講じるべき。

**答** 短期的な計画として、冠水箇所などの地形や排水路の測量などの調査を行い、雨水合流箇所の改修など冠水の低減に向けた対策を実施する。長期的な計画としては、東部排水路の雨水幹線バイパス管の詳細設計や絆北側2号調整池の着工等を予定している。

**問** 新川の大雨対策は引き続き強く要望していく

**問** 新川が大雨のたび被害を受ける原因は。

**答** 新川は那珂市内を水源とし、ひたちなか市、東海村の広範な流域の都市的排水の流末として治水機能を果たしている。降水時には、農業用排水路としての排水能力を超える。

**問** 新川の河川整備促進及び河川指定区域延伸が被害を防ぐには重要であることが分かった。村長の意気込みは。

**答** 新川の要望は首長懇話会にて行ってきた引き続き強く要望していく。



新川の様子

## 問 音声コード活用への考えと取組は

### 答 導入事例等を参考に検討する



公明党  
うえきしんじ 議員  
植木 伸寿

**問** 全ての障がい者が社会を構成する一員としさまざまな分野の情報を取得・利用が図れるよう2022年5月障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法を施行した。それに伴い、先進事例では公共からの通知やハザードマップや選挙投票入場券などにも、視覚障がい者のために音声コードを利用する自治体も出てきている。村の考えや取組みを伺う。

**答** 障害者総合支援法に基づき日常生活用具給付事業において読み上げ機器や文字拡大機

器などの費用を一部助成している。また、広報誌は社協により音訳・点訳などを行い毎月発行・発送している。

**問** 音声コードを活用し耳で聞くハザードマップなど「誰一人取り残さない」みんなに伝わる防災情報の運用事例も聞いている。必要な方に情報が確実に伝わるのが大切であるが、村の取組は。

**答** 音声コードについて利用状況や課題等も含め、他自治体の導入事例を参考に検討を進める。



大切な情報を誰もが自身で取得できる社会を